

小美玉市の
文化・芸術 総合情報誌

おみた *magazine*

OMITA MAGAZINE

小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第190号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室10609 TEL: 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館のしれ内)
【編集・発行】小美玉市文化芸術課 令和8年1月22日発行



Omitama
きらりびと



令和8年3月27日に、
小美玉市は
市制施行20周年を
迎えます。



アートと交わる
わたしがひかる

撮影：久保田 真一
モデル：由利 碧唯さん、由利 由里子さん

NEWS

①四季文化館企画実行委員会委員 ②コスモスプロジェクト委員 を募集します。



- 募集人数：若干名 ■ 任期：令和8年4月～令和10年3月
 - 年齢：18歳以上 ■ 応募期間：2月末まで
 - 活動頻度：隔月1回会議&活動団体視察・面接&イベント実施
- ※QRコードからお申し込みください(400字レポートがあります)。
※応募者多数の場合、選考します。

各館の自主事業の選定を行うアーツカウンシル(※)。生活者の視点から、地域の幸せにつながる事業を審査・決定。支援組織の実情を把握し、助言や組織同士のマッチングなど幅広い機能も果たす。

※アーツカウンシル：英国発祥で文化芸術の環境整備に携わる第三者機関を指す。事業を行う組織と行政とを仲介する役割。

■ 編集後記

市誕生20周年を機に、文化ホールや地域で躍動する方々の声を集めました。吉田先生や村尾さんの話を通じ、改めてこの街の持つ底力を実感しています。この熱量を次代へ繋ぐのは、他ならぬ皆さんの「言葉」です。新年の幕開けに、住民ライターとして街の魅力を発信してみませんか？ご参加、心よりお待ちしております。(原田 啓司)

■ みのんば編集局

- 編集長 藤田 佐知子
- 記者 遠藤 雅暉、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ、保田 孝雄
- カメラマン 赤上 恵、大山 進、斎藤 翔、齋藤 友幸、橋本 笑優
- アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

小美玉文化情報
日々発信中！
アピオス
みのんば
コスモス
f f
@ @
@ @

特集

まちづくりの躍動

取材・みのは編集局
撮影・赤上恵

文化ホールから広がる

人口減少時代を生き抜く鍵は、住民と自治体との共創

小美玉市は、令和8年3月に市制20周年を迎えます。この記念すべき節目に、私たちは地域の活力を支える重要な拠点、「みの〜れ」をはじめとする市内の文化ホール3館が果たしてきた役割、そしてこれからのまちづくりにおける可能性に光を当てます。



常磐大学総合政策学部教授

Tsutomu Yoshida

香川県丸亀市 協働推進部 まなび文化課長

Tsuyoshi Muraio

日本の総人口は2008年をピークに減少しており、本市も2000年をピークに同様の傾向にあります。現在、小美玉市の総人口の4.8%を外国籍の方が占めています。このまま人口減少が進めば、将来的に多くの自治体が消滅の危機に瀕するとも言われており、近未来の地域運営(自治)を誰が担うのか、真剣に考える時期にきています。

憲法に定められた「地方自治の本旨」は、住民が主役となる「住民自治」と、国から独立して主体的に運営する「団体自治」の二つです。このうち、住民に最も身近な「住民自治」を長年支えてきたのが、祭りや環境美化、行政との情報伝達を担ってきた自治会です。

しかし、全国的な傾向として自治会の加入率は減少し、担い手不足が課題となっています。これからの地域社会では、防災・危機管理、地域福祉といった新たな分野の活動が強く求められており、従来の枠組みを超えた「住民との多様な連携」が不可欠になっています。

こうした全国的な課題を抱える中で、小美玉市の文化ホールは、単なる発表や鑑賞の

場という役割を超え、住民のまちづくりへの参画意欲を高める「拠点」として機能しています。この活発な交流は、従来の自治会の枠組みに捉われない、多様な活動主体による新たなコミュニティを生み出しています。このホールを中心とした活発なコミュニティこそが、人口減少時代における小美玉市の持続可能なまちづくりの要にもなるのかもしれませんが。

地方行政のあり方が問われる中、私たちの地域社会も常に進化しています。例えば、茨城県議会が四年連続で全国議会改革度ランキング1位を獲得しているように、知事と議会が熱い議論を交わし、大学などの研究機関をも巻き込みながら政策が推進される姿勢は、住民にとっても地方行政のあり方を考える良い形となっています。

すべての人々が能力を最大限に発揮し、「幸せ」を実感しながら暮らす社会を実現するためには、行政だけで完結することはできません。企業、NPO団体、そして個々の住民といったすべての主体との連携を強化することが、今後の行政運営には必須です。

PROFILE

常磐大学総合政策学部教授
吉田 勉

茨城県庁での実務経験を経て、常磐大学で地方自治論・行政法学を専門とする。茨城県政や自治体の連携・協働を研究し、小美玉市などへの政策提言も行う。全国の自治体での法務研修講師をライフワークとし、地域の行政運営を精神的に支援している。



PROFILE

香川県丸亀市 協働推進部
まなび文化課長

村尾 剛志

1993年丸亀市役所入庁以来、公園整備、スポーツ推進、史跡保存など多岐にわたる分野で「地域を面白くする」ことに尽力。特に2018年からは市民会館の立ち上げに深く関わり、市民の想いを形にするプロフェッショナルとして貢献。現在は市民協働推進の要職を務める。



「対話の文化」は協働の羅針盤 住民は「お客様」ではなく「主体者」、

令和4年3月に文化芸術基本条例を定め、心豊かな生活と活力ある社会の実現を目指している丸亀市。この条例は、市の責務と住民の役割を明確にするとともに、文化芸術を通じて新たな価値とつながりを創出することを最も重視しています。最終的な目標は、文化芸術を軸に住民の孤立や孤独を解消する場を創出することです。

来年9月にオープン予定の新市民会館整備は、私たちが施設の目的や理念として「あたりまえ」を疑うことから始まりました。「文化芸術至上主義で議論されていないか?」「必要な人は本当は誰なのか?」。私たちは、利用者の要望だけでなく、住民共通のテーマである「くらし」に着目。文化芸術団体に先立って、福祉施設や病院、さらに暮らしの中で困難に直面する方々やそれを支える市民活動団体の声を丁寧に伺いました。

そこで気づいたのは、「聲なきに聴き、形なきに観る」姿勢の重要性、つまり「要望」よりも「必要性」を重視することです。この気づきから、次の3つの基本理念を掲げました。①豊かな人間性を育む:性別や年齢、国籍を

問わず、すべての住民が文化芸術に触れられる機会を創ること。②誰一人孤立させない:心理的にも経済的にも劇場から遠い人たちにこそ価値を届け、緩やかにつながりを生み出す社会を創ること。③切れ目ない支え合い:文化芸術の力で、福祉・医療・教育など多様な分野の課題を横断的に支え、社会の基盤を強化すること。

さらに、住民と行政の協働について、協働を「ボランティアによる安上がりの労働力」と捉えていないか、と。住民と行政は持つ情報や経験が異なるため、完全な対等にはなり得ません。だからこそ、お互いの立場を尊重し、「フラットな場」と「共通言語」が不可欠です。住民は「お客様」であるだけでなく「主体者」でもあるという認識を、行政・住民双方が共有することが重要です。そのために必要なのは、目的を共有し、役割を分担するための「まなびと対話」です。何でもこなすマルチプレイヤーに頼るのではなく、「得意技」を持つ多様な主体的なプレーヤーを見つけること。そして、住民が興味を持ち、楽しく参加できる場をつくるのが、協働の第一歩になると考えます。

Urban Development

The vibrant energy of urban development

Talk

01

慣れ親しんだ舞台、仲間が集まるホールは、
いっしょにサードプレイスに。



活動を通して新しい仲間に出会えました。ここは、私にとって大切な「もうひとつの居場所」です。
中学3年生/女子

「特別な日」だけ訪れる場所だった文化ホールが今、日常的な交流を生み出す場へと進化しています。玉小学区コミュニティでは、会議からイベントまでの大半がコスモスで行われるようになりました。住民にとってそこは、まさに心の「本籍地」。自宅でも職場でもない、自分らしくいられる『サードプレイス』へと育ったのです。「何かをやるなら、まずここに集まろう」。そんな自然な空気感が、それぞれに活動していた人々の想いを結び、地域一丸となった大きなまちのうねりに変えました。趣味や議論を通じて生まれた絆は、公共の場に豊かな彩りを添え、体温の通う「みんなの拠点」を形作っています。人と人が出会い、仲間の輪が広がる場所。ホールの灯りは、今日も街の未来を明るく照らしています。



Talk

03

文化ホールで培った経験と人脈が
まちに与える影響。



文化ホールの魅力は、舞台の上だけではなく。会議室やロビーで交わされる対話こそが、街を動かす原動力。ホールにゴルフ場を創るといった奇想天外な挑戦も、ここで出会った仲間がいたからこそ形になりました。共に汗を流し、何かを創り上げた経験は、揺るぎない信頼関係へと変わります。その熱気は施設の外へも波及しています。かつては隣近所数件の小さな単位だった活動が、ホールを拠点にすることで、街全体を見据えた大きな連帯感へと育ちました。そこで培われた経験を活かし、福祉や観光、自治会など多分野で活躍する人材も増えています。ホールで育まれた人脈と広い視野は、今やSNSやこの『おみたmagazine』を通じて、街中に新しい活力を届け続けています。

ここは元気の源。ホールで育った人たちが多分野で活躍する姿を見るのは、本当に誇らしいわ。
60代/女性

特集

文化ホールから広がる
まちづくりの躍動

小美玉市の文化施設と住民が織りなす

これまでの20年を振り返って

取材：藤田 佐知子

生涯学習センターコスモス

小川文化センター アビオス

四季文化館みの〜れ

Talk

02

このまち、小美玉で生きる
これからの未来をデザインする。

市制20周年を迎え、小美玉のまちづくりは今、輝かしい新局面を迎えています。これまでは個別の「点」だった住民活動が、文化ホールという結節点を通じて「線」となり、街全体を動かす大きな「ウェブ」へと進化しました。この20年という月日の中で蒔かれた種は、地域への誇りと深い愛着という根を張り、確かな希望として芽吹いています。未来を描く主役は、次代を担う若者たちです。「文化ホールを核としたコミュニティが持続可能な街を創る」と自発的に声を上げ、「じぶんごと」として行動し始めた彼らの姿は、小美玉のダイヤモンドの原石そのもの。多様な価値観を認め合い、誰もが自分らしく参加できる「関わりしろ」をデザインする。それこそが、20年後の小美玉をより豊かに彩るための、最高の設計図となるはず。



世代を超えて学び合える場。文化ホールは、小美玉の未来を指し示す「羅針盤」ですね。
40代/男性

私のアイデアが誰かの笑顔に。まちに貢献できる幸せを、ホールでの活動を通じて知りました。
40代/女性

Talk

04

根を張ってこそ花がさく。
文化ホールは豊かな大地。

「切り花」を生け替えるのではなく、地域に根ざし、毎年鮮やかに咲き続ける花のような文化を。小美玉が掲げるこのビジョンの通り、文化ホールは今、人々の根を支える「豊かな大地」となっています。「ここは子どもを育てる拠点」と多くの住民が語るように、学校へのアウトリーチや舞台体験を通じて、子どもたちは幼い頃からこのホールの空気を吸い、感性を育てています。地域に深く根を張る活動があるからこそ、次世代という鮮やかな花が咲き誇るのです。一方で、担い手不足など限界を感じている現場があるのも事実。だからこそ今、この大地を耕し続ける必要があります。まだ見ぬ層へ働きかけ、誰も取りこぼさない土壌を守り抜くこと。その丁寧な継続こそが、小美玉の未来を支える力強い幹となります。



『声なき声』に向き合い、誰も取りこぼさない。これぞ文化ホールが体現するSDGsですね。
20代/男性

spreading from the performing arts hall.

CULTURE REPORT

2025年11月1日 / アピオス
アピオス劇場探検&スタンプラリー

普段は入ることができないアピオスの裏側を探検しながら、各チェックポイントのアトラクションをクリアしてスタンプを集めるというアピオス43歳の誕生日を記念した特別企画。グランドピアノに触れたり、照明操作したりといったアトラクションは、小川文化センター活性化委員が考えて実践。委員それぞれの持ち味が生かされた内容で、参加者はとても楽しんでいました。(藤田 佐知子)

2025年11月6日 / 玉里保育園
学校アクティビティ事業 邦楽体験

尺八と琵琶の奏者、長須与佳さんが玉里保育園で和楽器のコンサートを開催。アーティストとして学校訪問活動に15年携わる長須さん。演奏に合わせ、子どもたちは歌や尺八演奏を体験し、音が出た子は驚きの表情を見せました。「知ってる歌がいっぱいで楽しかった」という声に、長須さんは「この取り組みが長く続いて、和楽器を楽しんでほしい」と笑顔で語りました。(福島 ヤヨヒ)

2025年12月3日 / みの〜れ
東京室内管弦楽団 はじめてのオーケストラ

今年で第17回となる本市独自の芸術鑑賞事業。中学2年生・義務教育学校8年生の372名が本格的なオーケストラ演奏を鑑賞しました。誰もが聴いたことのあるクラシックの名曲7曲とアンコール曲に会場は感動!美野里中の斎藤健棋さんは「ドラムの撥きばきに驚き、やってみたい!皆が拍手で盛り上がった行進曲は楽しかったです」と声を弾ませていました。(瀧澤 比佐乃)

2025年11月2日 / みの〜れ
OMITAMA まる市

穏やかな秋の日曜日、みの〜れの森広場に素敵な市場が出現。クラフト、フード、ワークショップ、リラクゼーションなど個性豊かな店が並び、アコーディオンの調べが響く。手作りの木工玩具では子どもたちが歓声を上げ、館内で実施していた小美玉市民文化祭に来場していた方も引き寄せられ、実りの秋の楽しいひと時を満喫していました。(遠藤 雅暉)

2025年11月25日 / 玉里学園義務教育学校
1/2成人式記念 フォトフレーム作りワークショップ

学年行事で「親子フォトフレーム制作」を開催しました。大嶽一省さんデザインのコミュニケーションキャラクターBIRDが描かれたフレームに色を塗り、親子で集めた木の実や落ち葉で装飾。最後に思い出の写真を飾り、個性豊かな作品が完成しました。「2分の1成人式」を迎えた子どもたちが、完成した作品を互いに見せ合い誇らしげに笑う姿からは、未来への希望と確かな達成感が伝わってきました。(藤田 佐知子)

2025年12月7日 / みの〜れ
いばらきビッグバンドジャズフェスティバル

森のホールにて、いばらきビッグバンドジャズフェスティバルが開催。小学校から社会人まで11団体が迫力のスイングを披露しました。小美玉市からは美野里中学校Sharp&Flatsと、結成22年のJolly forest Jazz orchestraが出演。特に美野里中学校は、21名の新入部員が初の大舞台ながら、半年間の猛練習の成果を遺憾なく発揮し、会場を沸かせました。(遠藤 雅暉)



INFORMATION

けん玉ワークショップ vol.10



- 日時 2月21日(土)13:30
- 会場 アピオス小ホール
- 金額 300円
- 講師 トーゴ

けん玉をツールに、子どもと高齢者が抱える社会課題の解決に取り組みます。けん玉は成功体験と五感力アップの宝庫。参加したら必ずきっとこう思うはず。「けん玉って、こんなに楽しかったんだ。」

■受付中 / 0299-58-0921 (アピオス)

みのり太鼓第20回企画 TAIKO GROOOOOOVE!!



- 日時 3月21日(土)13:30
- 会場 みの〜れ森のホール
- 金額 前売:1,500円
当日:2,000円
- 全席自由
- 3歳以下入場不可

茨城・千葉・神奈川で活躍する6団体による和太鼓コンサート。リズムを通じ、演奏者と観客が一体となるステージをお届け!

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

光と風のステージCue vol.82 スプリングジャズナイト



- 日時 2月28日(土)19:00
- 会場 みの〜れ風のホール
- 金額 1,500円(1ドリンク付)
- 出演 伊王野 求美(ヴォーカル)
塚本 澄夫(サクソ)
外山 安樹子(ピアノ)

土曜日の夜、みの〜れでドリンク片手におしゃれなジャズを聴きながら、素敵なひとときを楽しみませんか?

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu 新作ミュージカル出演者募集



- 「クロノポスト〜拝啓、どこかのだれかさま〜」
- 3/1(日)13:00 体験会 16:15 説明会
- 会場 みの〜れ風のホール
- 本番 10月10日(土)・11日(日)
- 金額 中学生以上:月2,000円
小学生:月1,500円
アンサンブル:3,000円

参加条件は大勢の人たちと一緒に舞台を創り上げることに共感できる方&2026年4月時点で小学1年生以上の方です。

■受付中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

2026年 2月〜3月のイベント pick up ※このスケジュールは2025年12月18日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
2月21日(土) 2月22日(日) 2月23日(月)	みの〜れ&演劇ファミリーMyuコラボ作品 ここで逢えたら…vol.06	13:00 13:00/17:00 13:00	みの〜れ 森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	1,500円
2月28日(土)	宝くじ文化公演 スクリーンミュージックコンサート	15:00	アピオス 大ホール	アピオス 0299-58-0921	一般:2,500円 U18:1,500円
2月28日(土)	A.R.C タンゴコンサート	14:00	コスモス 文化ホール	コスモス 0299-26-9111	一般:1,000円 高校生以下:無料
3月1日(日)	みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu 新作ミュージカル体験会	13:00	みの〜れ 風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
3月7日(土)	まなびtoプラス「チームビルディング」	14:00	みの〜れ 風のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
3月14日(土)	美野里中学校演劇部支援 演劇発表会 春公演	13:30	みの〜れ 森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
3月15日(日)	第3回アピオスカラオケバトル	13:30	アピオス 大ホール	アピオス 0299-58-0921	無料 (要整理券)
3月20日(金)	美野里中学校吹奏楽部支援 スプリングコンサート	13:30	みの〜れ 森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
3月21日(土)	みのり太鼓単独公演 TAIKO GROOOOOOVE!!	13:30	みの〜れ 森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	前売:1,500円 当日:2,000円